

高耐食性を考えた試験機づくり

編集部

試験中は、試料だけではなく試験機も過酷な条件で試験をされている状態と言えます。試料に付着した塩化物や、試験時に試料から発生するガスなどの物質によって、試験機自体を腐食させる可能性もあります。年間を通してフル稼働する試験機を長年安心して使用するためには、十分な耐久性、耐食性を持つ堅ろう性が重要になります。

今回は特殊仕様の製作例として、腐食に強いチタン製の試験槽を用いた様々な試験機をご紹介します。

■恒温恒湿槽



■概要

チタン製で耐食性に優れた恒温恒湿槽です。

■特長

1. 試験槽、攪拌扇、ヒーターなどに耐食性に優れたチタンを用いています。
2. 一定の温湿度環境下の試験が可能です。

■仕様

温湿度範囲	温度 5~85°C、 湿度 40~95%rh(60°Cに於いて)
制御・分布精度	制御:温度 ±1°C、湿度 ±5%rh 分布:温度 ±3°C、湿度 ±7%rh
試験槽寸法	約幅 50×奥行 39×高さ 60cm
本体寸法	約幅 95×奥行 100×高さ 186cm
電源容量	3相 200V 約 11A

※本製品は、お客様の要求に基づき製作したオーダーメイド製品です。別途仕様のお打ち合わせが必要です。

■ 燃焼性試験器 FL-45MCZ 型

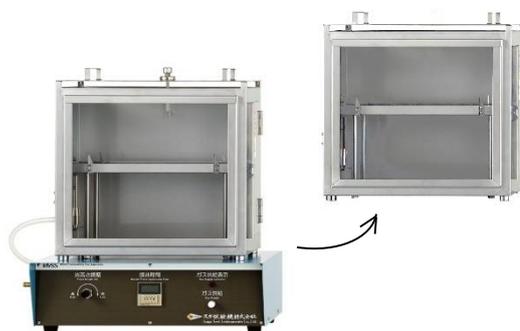
45°に保持した試験片にバーナーを当て、一定時間後試験片の炭化面積、炭化長、残炎、残じん時間等を測定し燃焼性を判定するもので、JIS L 1091 または消防法の規格に適合しています。標準仕様ではステンレス製の燃焼箱ですが、塩化ビニルの試験など、試料から腐食性の強いガスや成分が発生する場合、ご要望により耐食性に優れたチタン製で製作することが可能です。



※交換用として燃焼箱のみの製作も可能です。

■ 燃焼性試験器 MVSS-2Z 型 / MVSS-3Z 型

自動車や航空機の内装材に用いられる有機材料の水平状態における燃焼速度を測定します。MVSS-2 型は FMVSS No.302、SAE J369a 適合で、MVSS-3は ISO 3795、JIS D 1201 に適合しています。標準仕様ではステンレス製の燃焼箱ですが、塩化ビニルの試験など、試料から腐食性の強いガスや成分が発生する場合、ご要望により耐食性に優れたチタン製で製作することが可能です。



※交換用として燃焼箱のみの製作も可能です。

【低温・高温試験にも対応】

■ 複合サイクル試験機 CCT-1L 型

塩水噴霧・乾燥・湿潤・浸漬・外気導入・低温・湿潤高温の 7 種の試験項目を任意に組み合わせたサイクル試験が可能です。当社の CCT 型複合サイクル試験機はチタン製試験槽が標準仕様です。



■ 複合サイクル試験機 CYP-90Z 型

塩水噴霧・乾燥・湿潤・外気導入・湿潤高温の 5 種の試験項目を任意に組み合わせたサイクル試験が可能です。標準仕様の試験槽は耐熱塩化ビニル製で、耐食性に優れています。標準仕様での試験温度範囲を超えた高温試験(80°C以上)のご要望の際、チタン製試験槽の特殊仕様で製作します。

※写真は標準仕様の試験槽(耐熱塩化ビニル製)です。



当社の試験機は長年の経験と実績から、試験溶液の種類や温湿度及び試験条件に応じて試験機構成部材の耐久性を考え材質を選定し、十分な耐久性、耐食性を持つ堅ろうな試験機づくりに努めています。

※型式末尾に「Z」が付く製品は、お客様の要求に基づき製作したオーダーメイド製品です。別途仕様のお打ち合わせが必要です。